

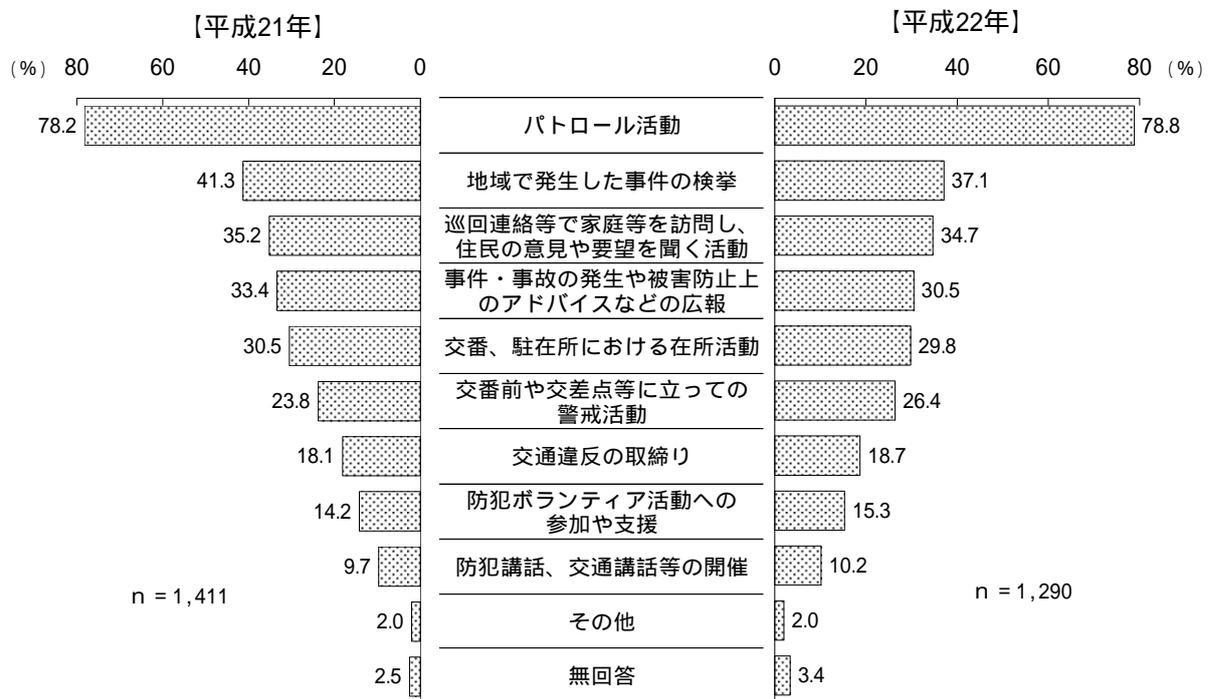
8 犯罪と治安対策について

(1) 交番等の警察官に特に力を入れてほしい活動

問 25 あなたが、交番等の警察官に特に力を入れてほしい活動は何ですか。次の中からいくつか選んでください。

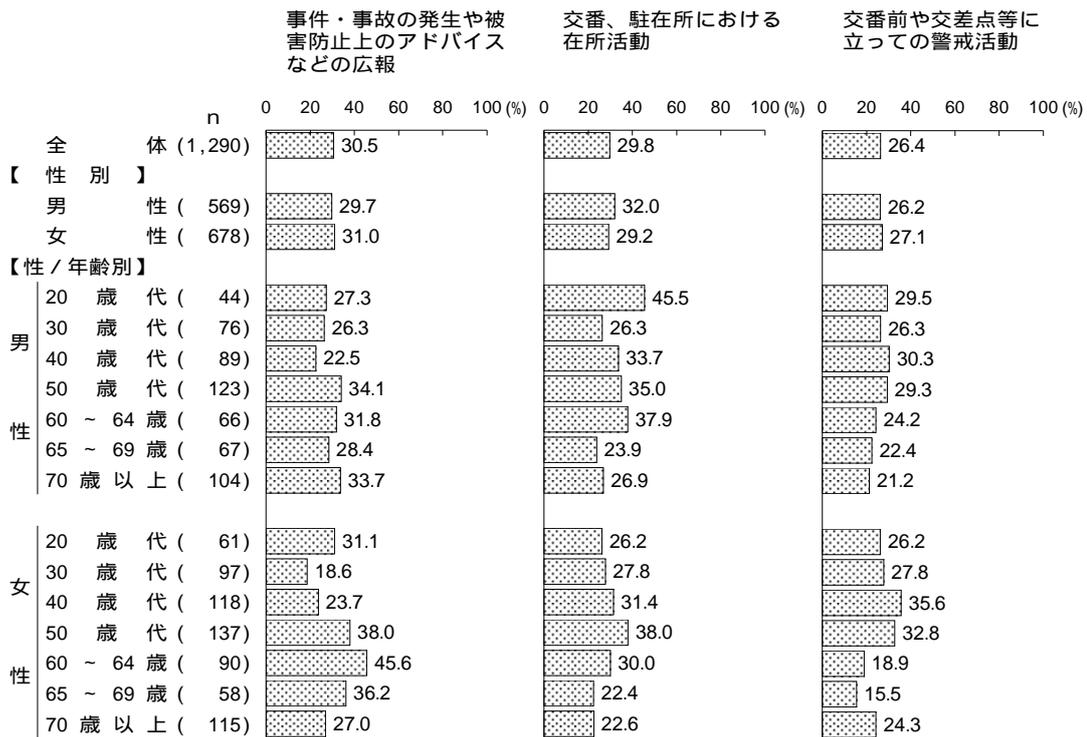
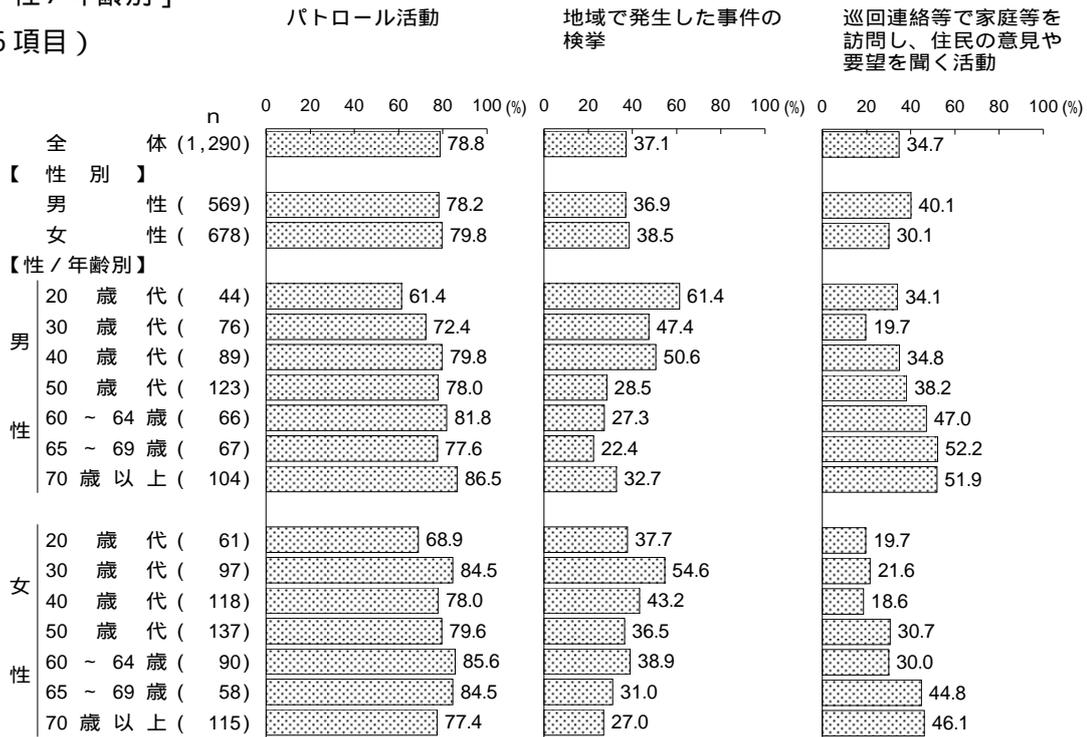
[n = 1,290]

1	パトロール活動	78.8%
2	交番、駐在所における在所活動	29.8
3	巡回連絡等で家庭等を訪問し、住民の意見や要望を聞く活動	34.7
4	交番前や交差点等に立っての警戒活動	26.4
5	事件・事故の発生や被害防止上のアドバイスなどの広報	30.5
6	地域で発生した事件の検挙	37.1
7	交通違反の取締り	18.7
8	防犯講話、交通講話等の開催	10.2
9	防犯ボランティア活動への参加や支援	15.3
10	その他	2.0
	(無回答)	3.4



全体で見ると、「パトロール活動」(78.8%)が8割近くと最も高くなっている。次いで、「地域で発生した事件の検挙」(37.1%)、「巡回連絡等で家庭等を訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」(34.7%)、「事件・事故の発生や被害防止上のアドバイスなどの広報」(30.5%)、「交番、駐在所における在所活動」(29.8%)の順となっている。

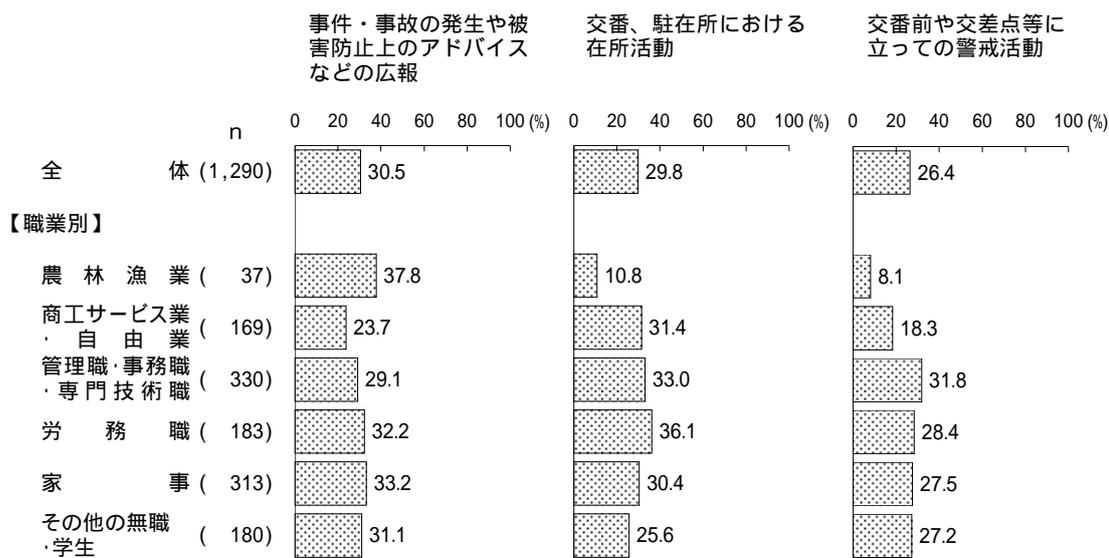
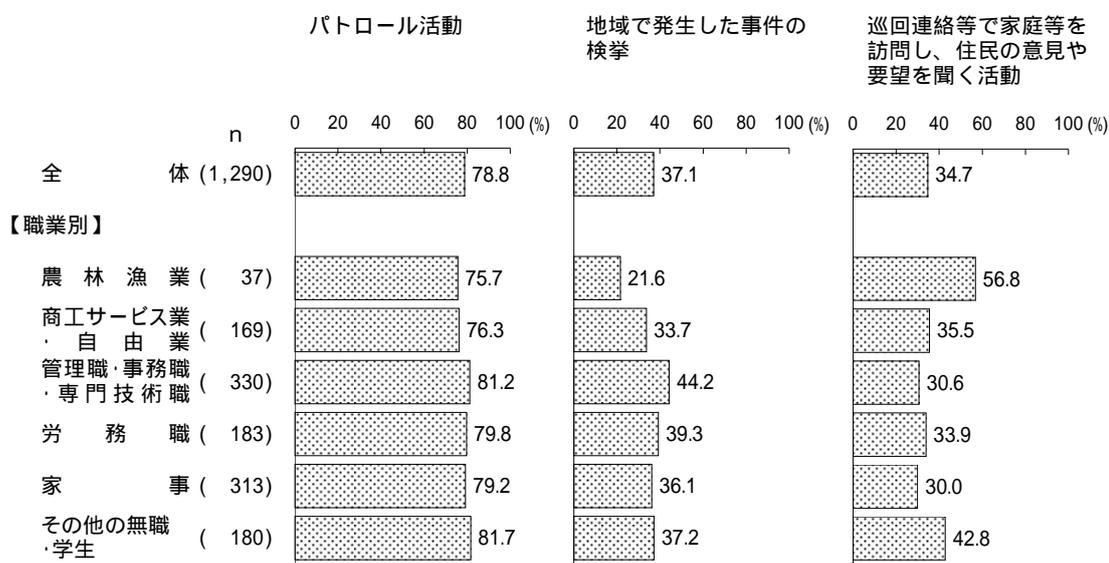
[性別・性/年齢別]
(上位6項目)



性別で見ると、「巡回連絡等で家庭等を訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」では 男性（40.1%）が 女性（30.1%）より 10.0ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。

性/年齢別で見ると、「地域で発生した事件の検挙」では 男性 20歳代 が 61.4%と最も高く、「巡回連絡等で家庭等を訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」では 男性 65~69歳（52.2%）と 男性 70歳以上（51.9%）が 5割を超え高くなっている。また、「事件・事故の発生や被害防止上のアドバイスなどの広報」では 女性 60~64歳 が 45.6%、「交番、駐在所における在所活動」では 男性 20歳代 が 45.5%と最も高くなっている。

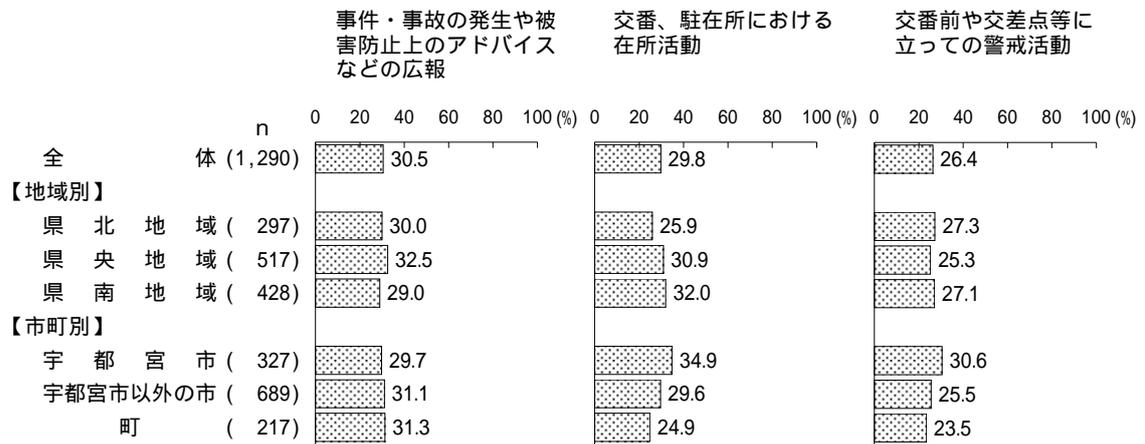
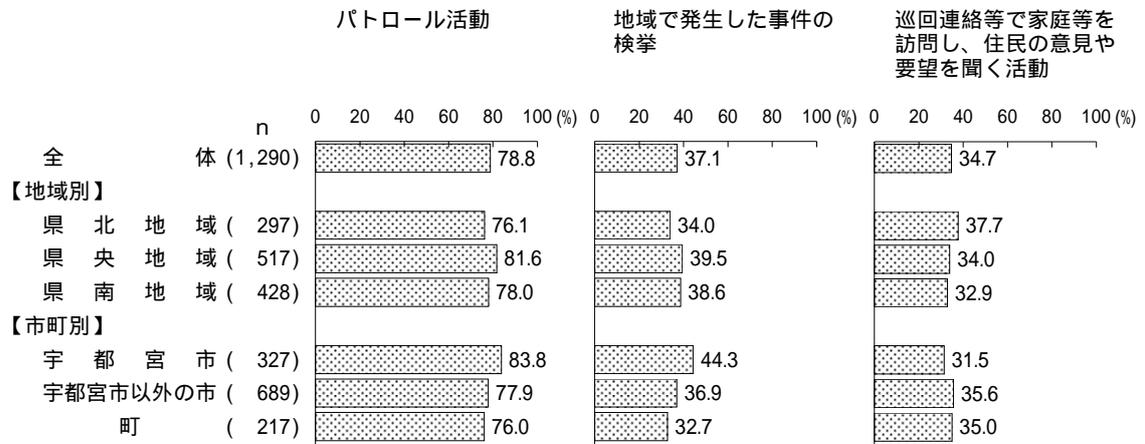
[職業別]
 (上位 6 項目)



職業別でみると、農林漁業では「巡回連絡等で家庭等を訪問し、住民の意見や要望を聞く活動」が56.8%、「事件・事故の発生や被害防止上のアドバイスなどの広報」が37.8%と他の職業と比べて最も高くなっている。

[地域別・市町別]

(上位 6 項目)



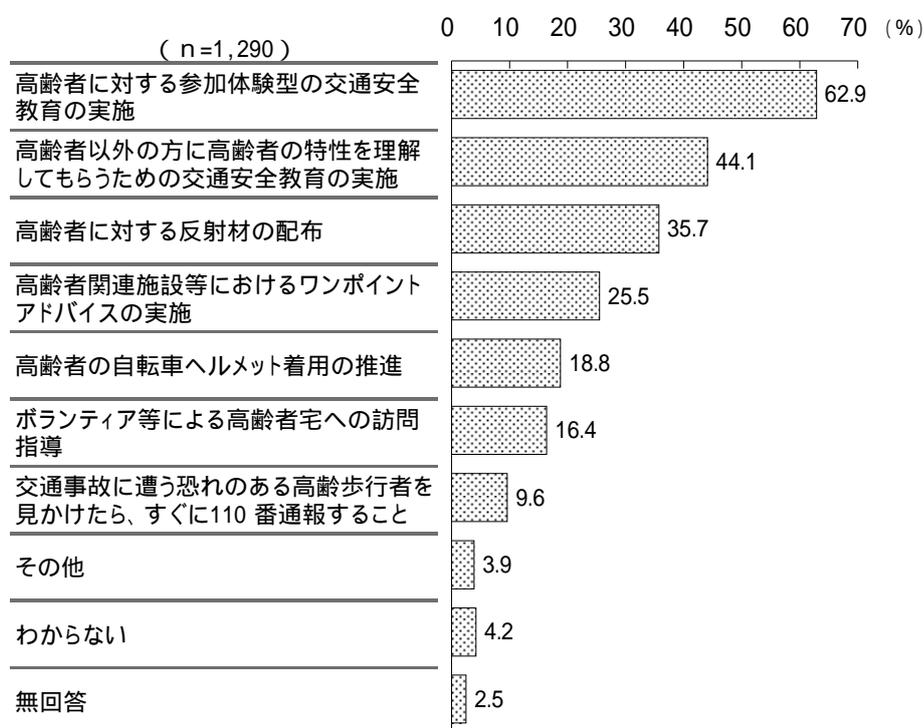
市町別でみると、宇都宮市では「パトロール活動」が83.8%、「地域で発生した事件の検挙」が44.3%と他の市町と比べて最も高くなっている。

(2) 高齢者の交通事故防止のために必要な対策

問 26 高齢者が交通事故の当事者になる割合が増えていますが、高齢者の事故を防止するため、あなたは何かが必要だと思いませんか。次の中から3つまで選んでください。

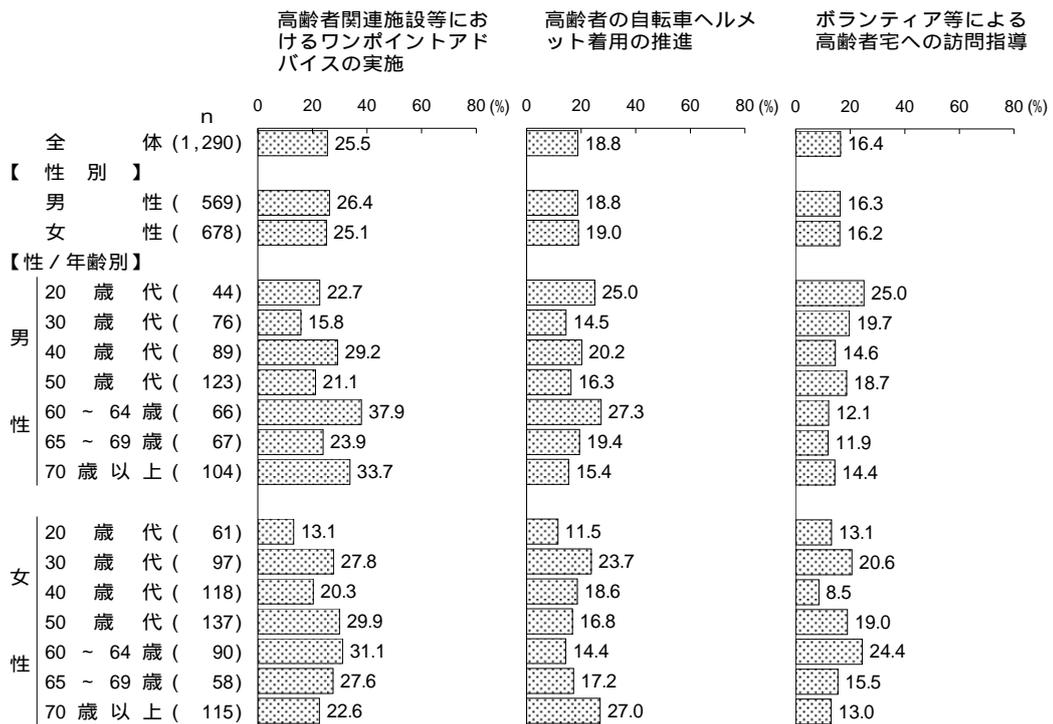
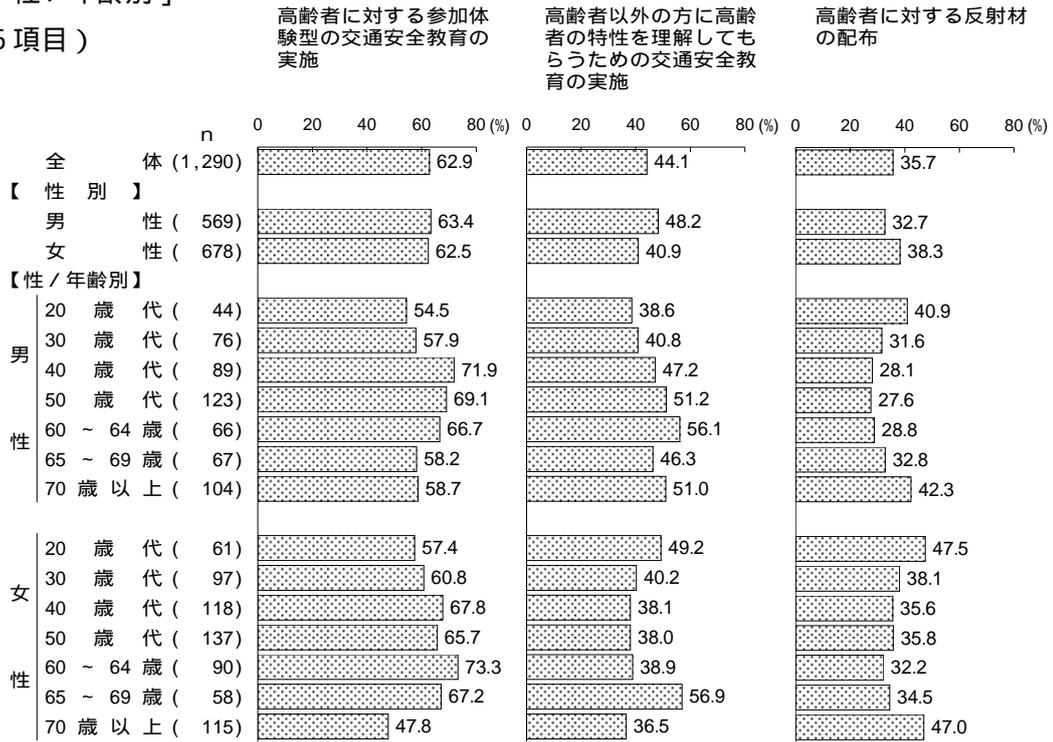
[n = 1,290]

1 高齢者に対する参加体験型の交通安全教育の実施	62.9%
2 高齢者に対する反射材の配布	35.7
3 ボランティア等による高齢者宅への訪問指導	16.4
4 高齢者の自転車ヘルメット着用の推進	18.8
5 交通事故に遭う恐れのある高齢歩行者を見かけたら、すぐに110番通報すること	9.6
6 高齢者以外の方に高齢者の特性を理解してもらうための交通安全教育の実施	44.1
7 高齢者関連施設等におけるワンポイントアドバイスの実施	25.5
8 その他	3.9
9 わからない	4.2
(無回答)	2.5



全体で見ると、「高齢者に対する参加体験型の交通安全教育の実施」(62.9%) が6割を超え最も高く、次いで「高齢者以外の方に高齢者の特性を理解してもらうための交通安全教育の実施」(44.1%)、「高齢者に対する反射材の配布」(35.7%)、「高齢者関連施設等におけるワンポイントアドバイスの実施」(25.5%) の順となっている。

[性別・性/年齢別]
(上位6項目)

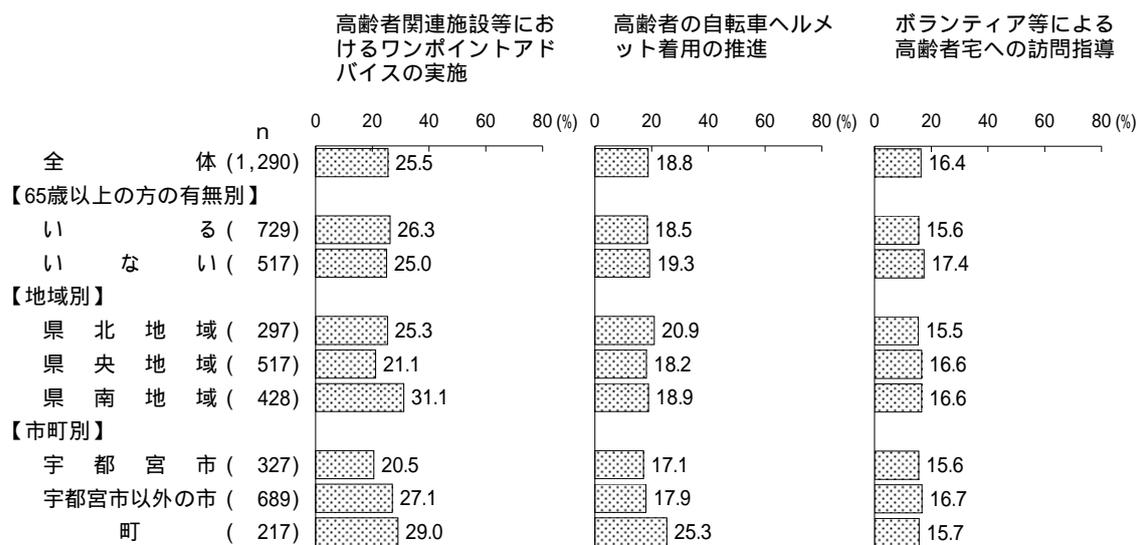
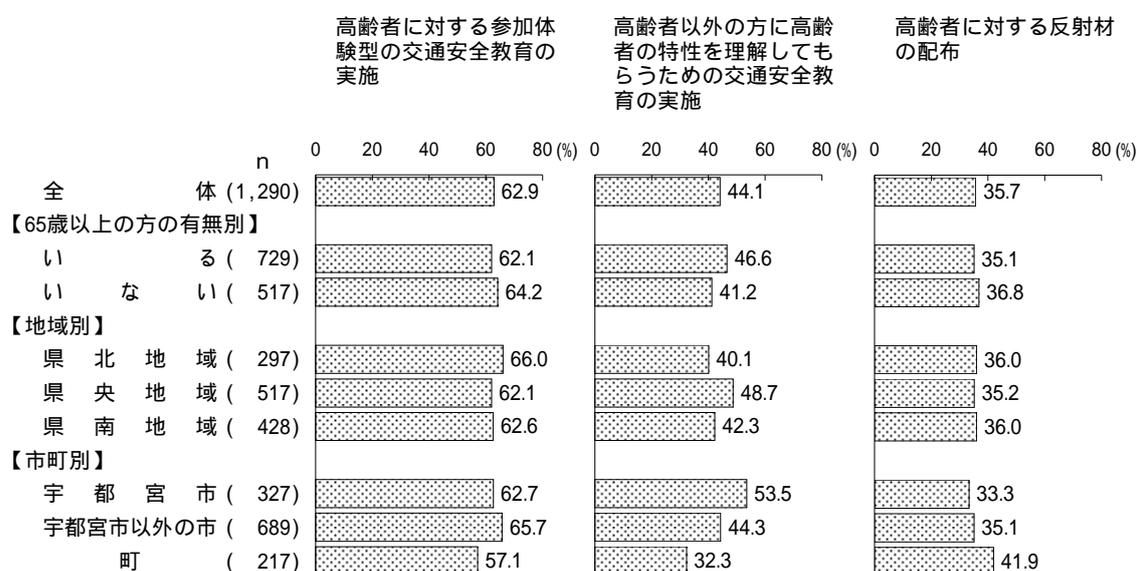


性別で見ると、「高齢者以外の方に高齢者の特性を理解してもらうための交通安全教育の実施」では 男性（48.2%）が 女性（40.9%）より7.3ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。

性/年齢別で見ると、「高齢者に対する反射材の配布」では 女性20歳代（47.5%）と 女性70歳以上（47.0%）が5割近くと他の年代と比べて高くなっている。また、「高齢者関連施設等におけるワンポイントアドバイスの実施」では 男性60~64歳 が37.9%と最も高くなっている。

[65 歳以上の方の有無別・地域別・市町別]

(上位 6 項目)



65 歳以上の方の有無別で見ると、「高齢者以外の方に高齢者の特性を理解してもらうための交通安全教育の実施」では 65 歳以上の方がいる (46.6%) が いない (41.2%) より 5.4 ポイント高く、65 歳以上の方の有無間の差が最も大きくなっている。

地域別で見ると、「高齢者以外の方に高齢者の特性を理解してもらうための交通安全教育の実施」では 県央地域 が 48.7%、「高齢者関連施設等におけるワンポイントアドバイスの実施」では 県南地域 が 31.1%と最も高くなっている。

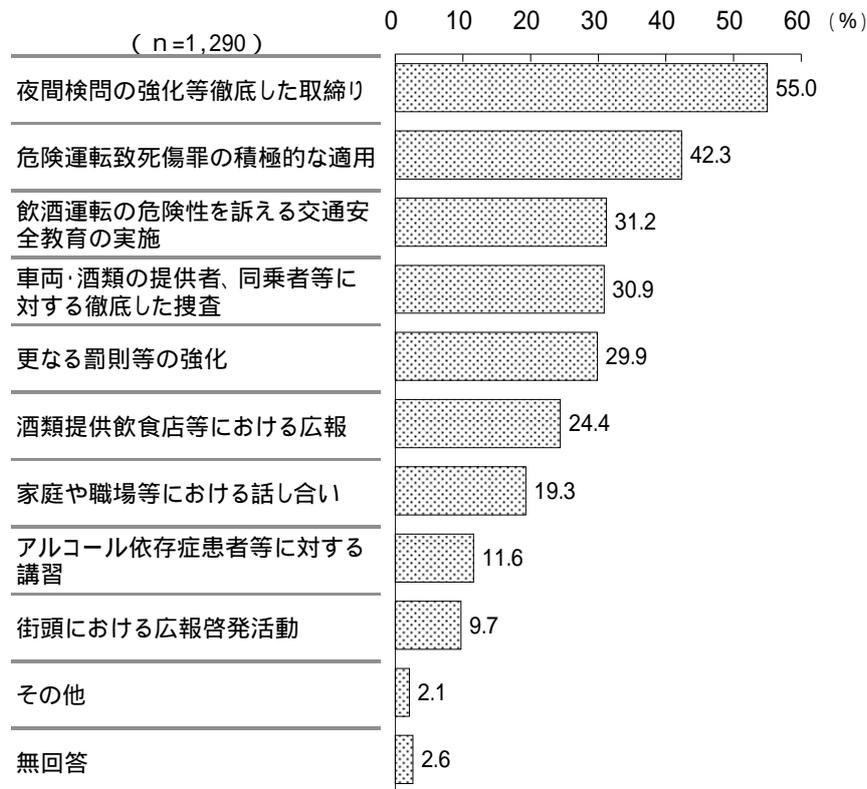
市町別で見ると、「高齢者以外の方に高齢者の特性を理解してもらうための交通安全教育の実施」では 宇都宮市 が 53.5%と最も高くなっている。

(3) 飲酒運転根絶のために必要な対策

問 27 飲酒運転の罰則や行政処分が強化されましたが、依然として悪質な飲酒運転は後絶ちません。飲酒運転を根絶するため、あなたはどのような対策が必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

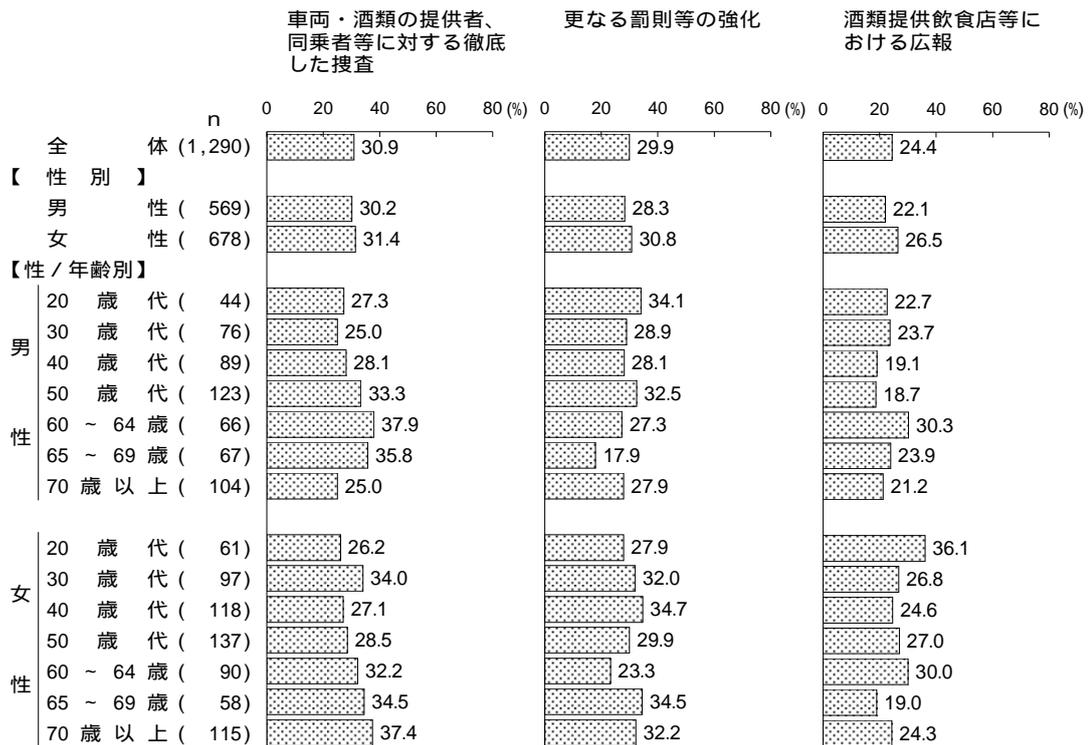
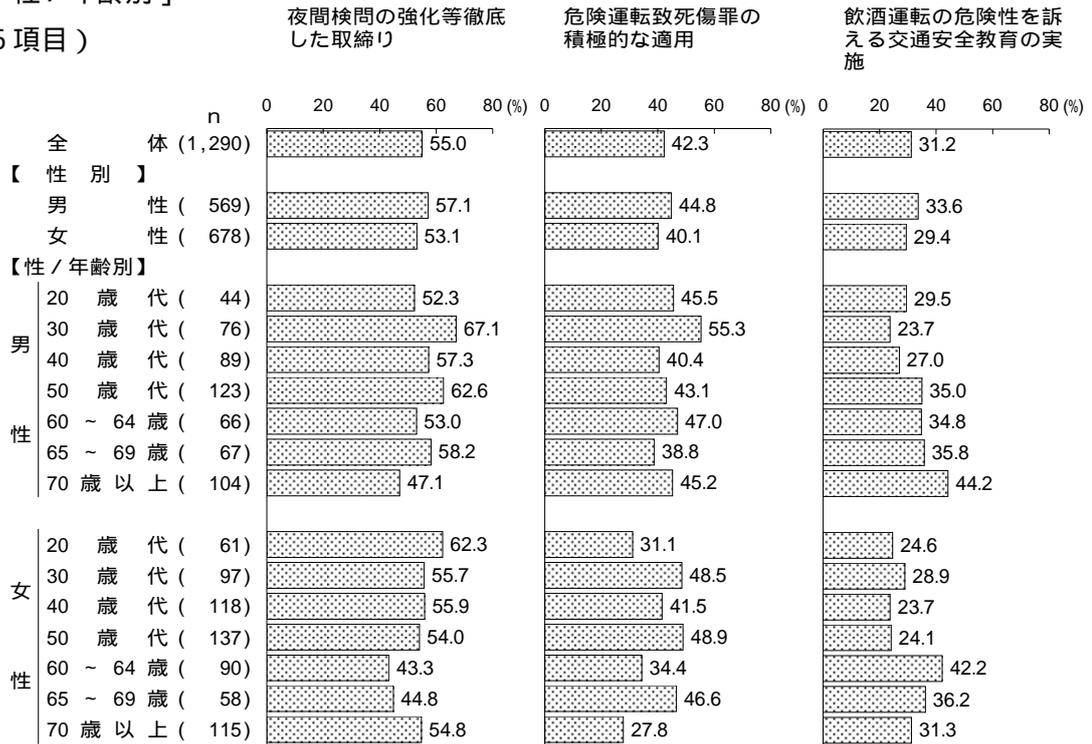
[n = 1,290]

1	夜間検問の強化等徹底した取締り	55.0%
2	車両・酒類の提供者、同乗者等に対する徹底した捜査	30.9
3	危険運転致死傷罪の積極的な適用	42.3
4	飲酒運転の危険性を訴える交通安全教育の実施	31.2
5	街頭における広報啓発活動	9.7
6	家庭や職場等における話し合い	19.3
7	酒類提供飲食店等における広報	24.4
8	アルコール依存症患者等に対する講習	11.6
9	更なる罰則等の強化	29.9
10	その他	2.1
	(無回答)	2.6



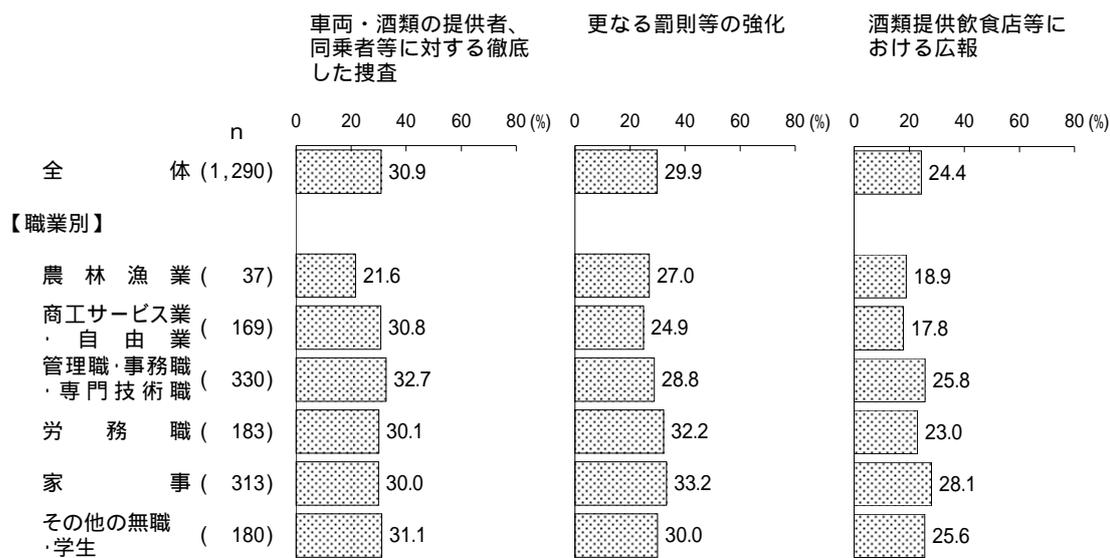
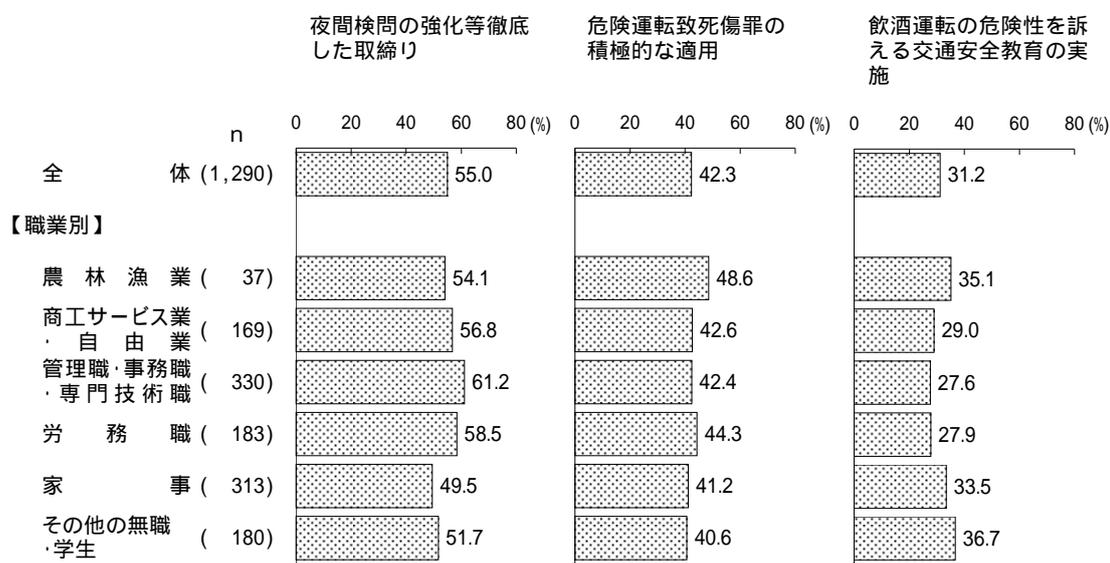
全体で見ると、「夜間検問の強化等徹底した取締り」(55.0%)が5割半ばと最も高く、次いで「危険運転致死傷罪の積極的な適用」(42.3%)、「飲酒運転の危険性を訴える交通安全教育の実施」(31.2%)、「車両・酒類の提供者、同乗者等に対する徹底した捜査」(30.9%)、「更なる罰則等の強化」(29.9%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]
(上位6項目)



性/年齢別でみると、男性30歳代では「夜間検問の強化等徹底した取締り」が67.1%、「危険運転致死傷罪の積極的な適用」が55.3%と他の年代と比べて最も高くなっている。また、「飲酒運転の危険性を訴える交通安全教育の実施」では男性70歳以上が44.2%と最も高くなっている。

[職業別]
 (上位 6 項目)



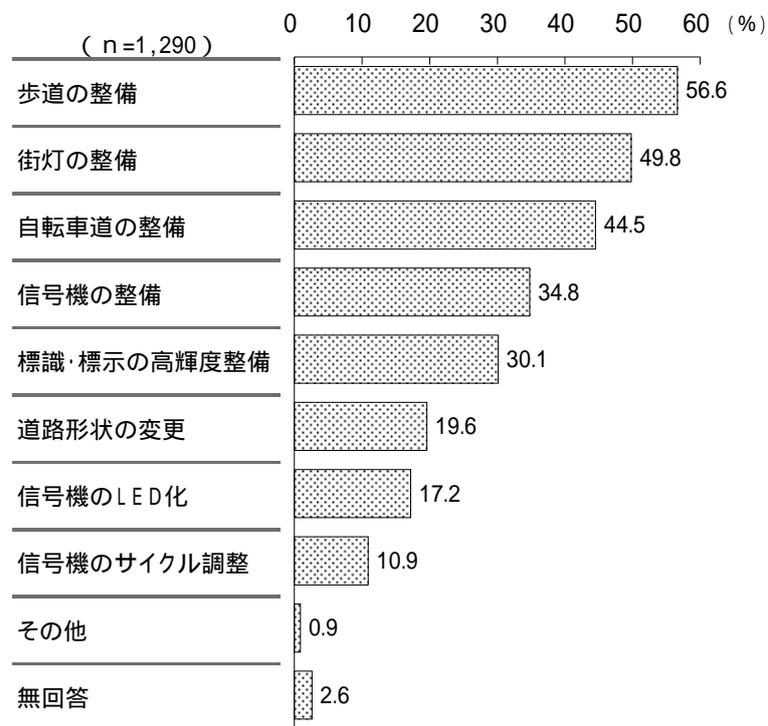
職業別でみると、「夜間検問の強化等徹底した取締り」では 管理職・事務職・専門技術職 が 61.2%、「危険運転致死傷罪の積極的な適用」では 農林漁業 が 48.6%と最も高くなっている。

(4) 事故防止に役立っていると感じる施策

問 28 交通事故を防止するため、各種の交通安全施設の整備を進めていますが、あなたが事故防止に役立っていると感じる施策は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

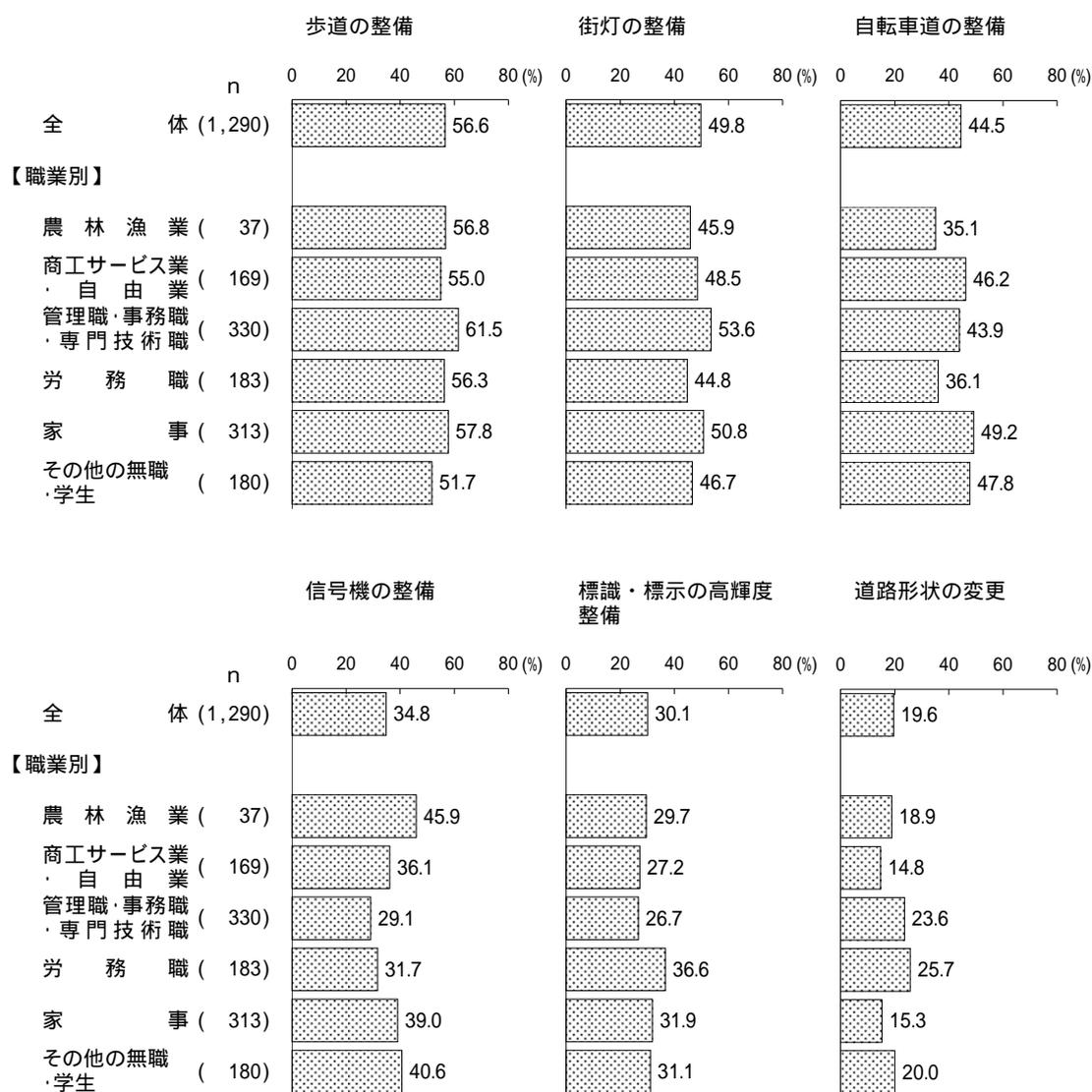
[n = 1,290]

1	信号機の整備	34.8%
2	信号機のLED化	17.2
3	街灯の整備	49.8
4	歩道の整備	56.6
5	標識・標示の高輝度整備	30.1
6	自転車道の整備	44.5
7	道路形状の変更	19.6
8	信号機のサイクル調整	10.9
9	その他	0.9
	(無回答)	2.6



全体で見ると、「歩道の整備」(56.6%)が6割近くと最も高く、次いで「街灯の整備」(49.8%)、「自転車道の整備」(44.5%)、「信号機の整備」(34.8%)、「標識・標示の高輝度整備」(30.1%)の順となっている。

[職業別]
 (上位 6 項目)



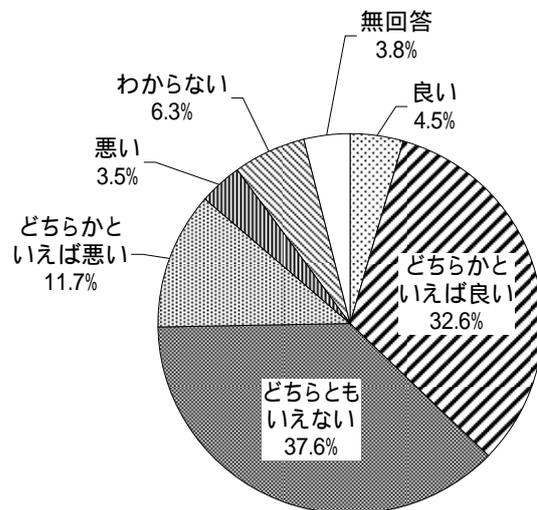
職業別でみると、「信号機の整備」では 農林漁業 が 45.9%、「標識・標示の高輝度整備」では 労務職 が 36.6%と最も高くなっている。

(5) 県内の治安状況

問 29 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1,290]

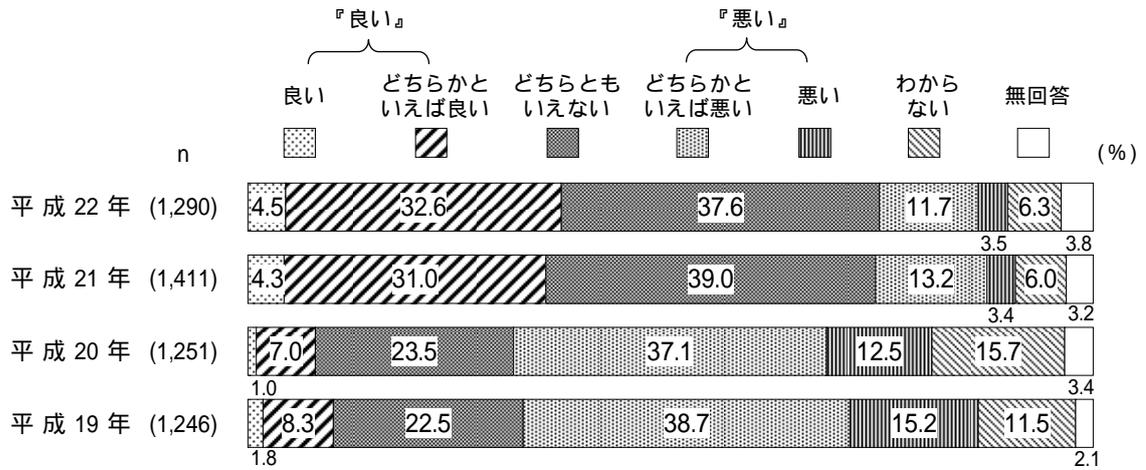
1 良い	4.5%
2 どちらかといえば良い	32.6
3 どちらともいえない	37.6
4 どちらかといえば悪い	11.7
5 悪い	3.5
6 わからない	6.3
(無回答)	3.8



(n = 1,290)

全体で見ると、「良い」(4.5%)と「どちらかといえば良い」(32.6%)の2つを合わせた『良い』(37.1%)が4割近くとなっている。一方、「どちらかといえば悪い」(11.7%)と「悪い」(3.5%)の2つを合わせた『悪い』(15.2%)が1割半ばとなっている。

[過去の調査結果]



選択肢の変更

平成 19・20 年

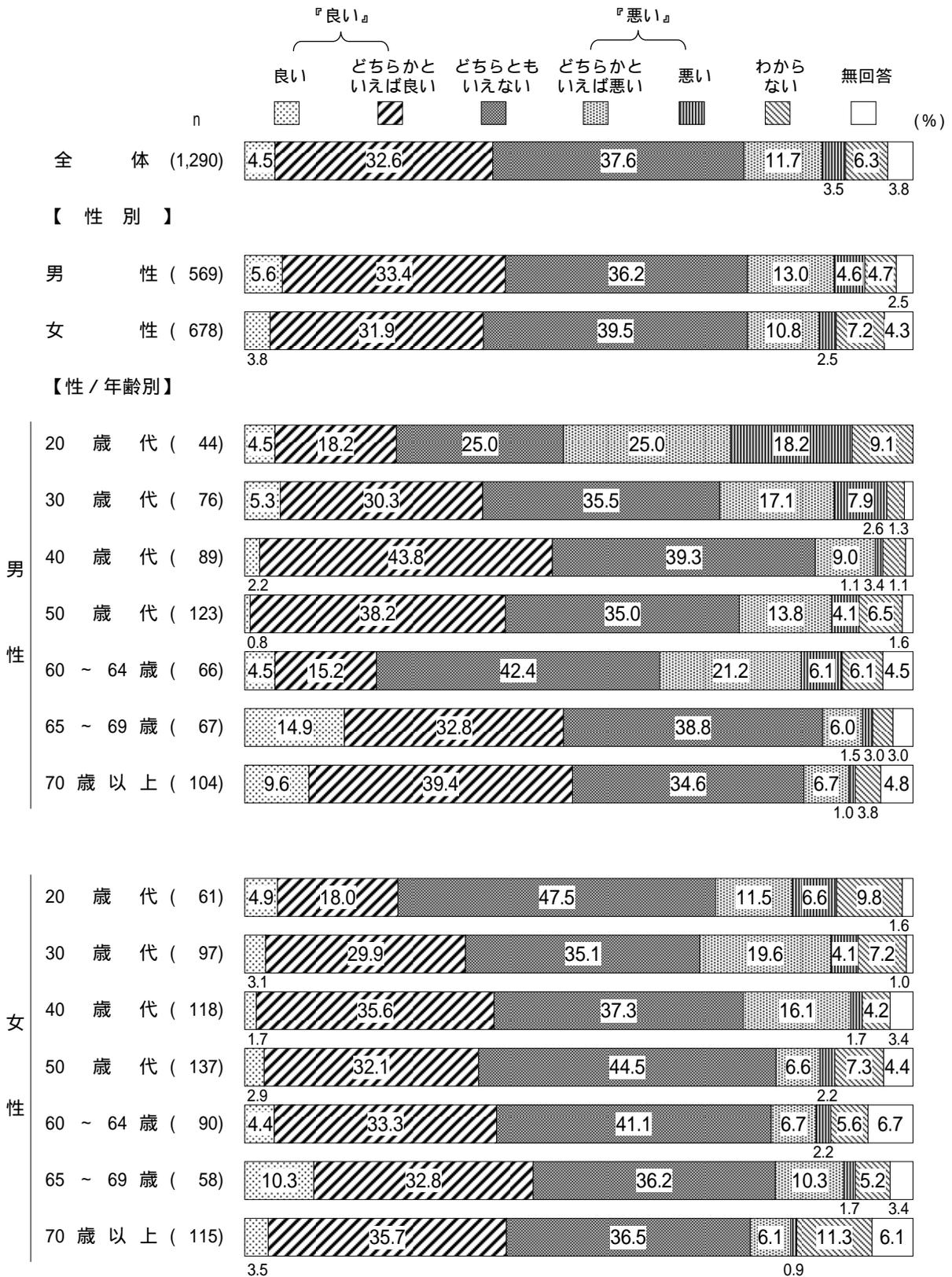
- 「良くなっている」
- 「どちらかといえば良くなっている」
- 「変化はない」
- 「どちらかといえば悪くなっている」
- 「悪くなっている」
- 「わからない」

平成 21・22 年

- 「良い」
- 「どちらかといえば良い」
- 「どちらともいえない」
- 「どちらかといえば悪い」
- 「悪い」
- 「わからない」

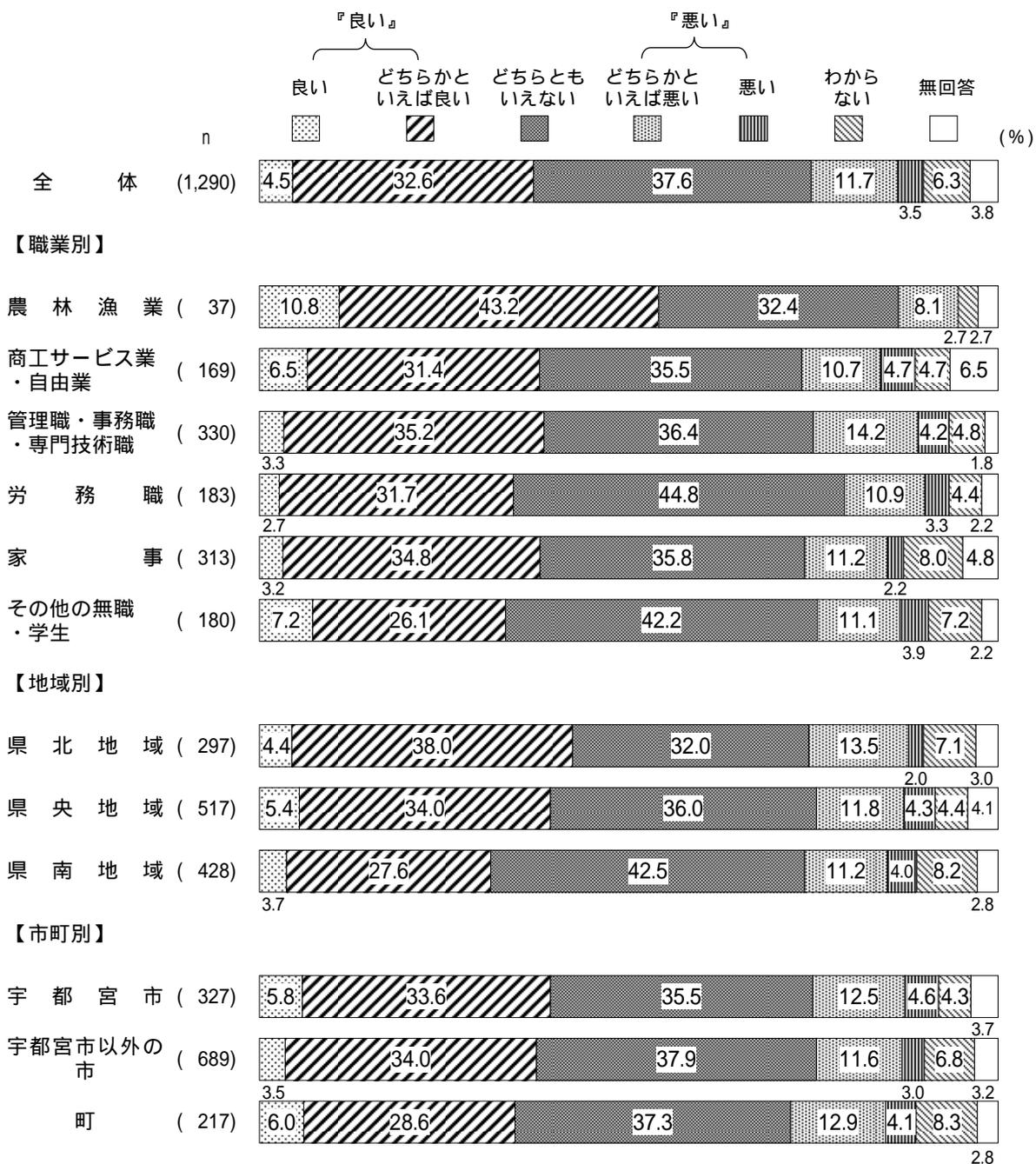
過去の調査結果と比較すると、前回（平成 21 年）とほぼ同じ傾向となっている。

[性別・性 / 年齢別]



性 / 年齢別でみると、『良い』では 男性 70 歳代 (49.0%) と 男性 65~69 歳 (47.7%) が 5 割近くと高くなっている。一方、『悪い』では 男性 20 歳代 が 43.2% と最も高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『良い』では 農林漁業 が 54.0% と最も高くなっている。

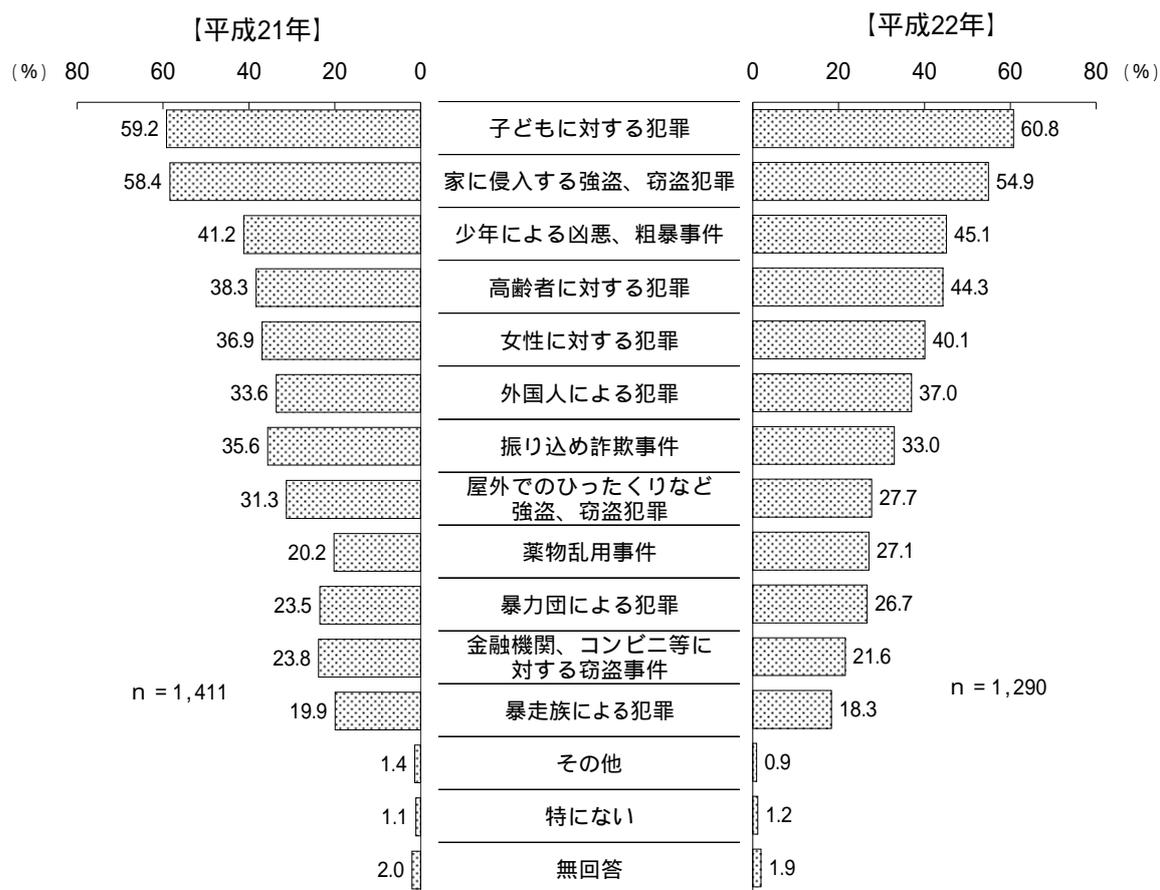
地域別でみると、『良い』では 県北地域 が 42.4% と最も高くなっている。

(6) 不安を感じる犯罪

問 30 あなたは、どのような犯罪に不安を感じますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n = 1,290]

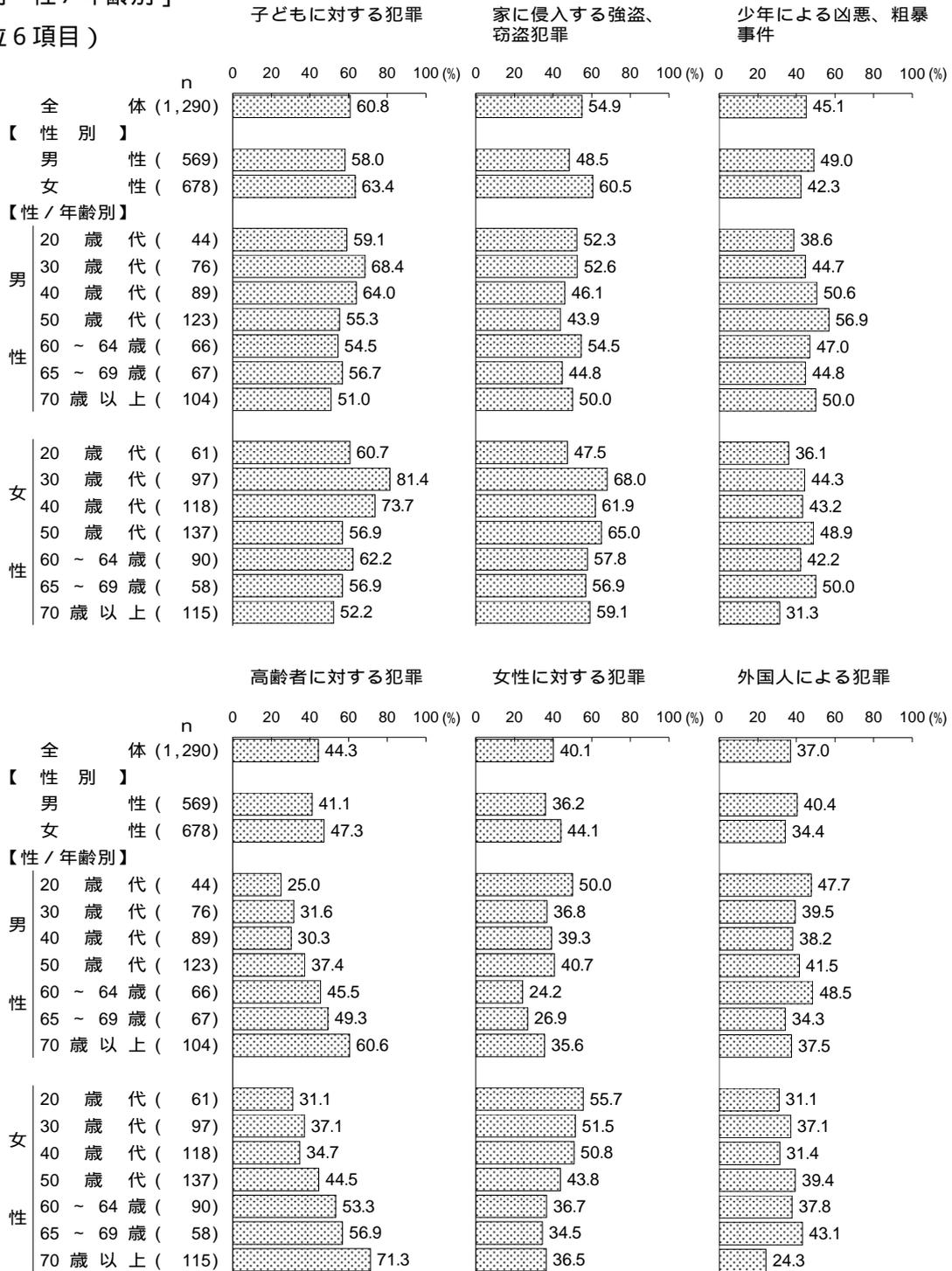
1	子どもに対する犯罪	60.8%
2	女性に対する犯罪	40.1
3	高齢者に対する犯罪	44.3
4	金融機関、コンビニ等に対する窃盗事件	21.6
5	少年による凶悪、粗暴事件	45.1
6	外国人による犯罪	37.0
7	暴力団による犯罪	26.7
8	暴走族による犯罪	18.3
9	家に侵入する強盗、窃盗犯罪	54.9
10	屋外でのひったくりなど強盗、窃盗犯罪	27.7
11	薬物乱用事件	27.1
12	振り込め詐欺事件	33.0
13	その他	0.9
14	特にない	1.2
	(無回答)	1.9



全体で見ると、「子どもに対する犯罪」(60.8%)がほぼ6割と最も高く、次いで「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」(54.9%)、「少年による凶悪、粗暴事件」(45.1%)、「高齢者に対する犯罪」(44.3%)、「女性に対する犯罪」(40.1%)、「外国人による犯罪」(37.0%)の順となっている。

過去の調査結果と比較すると、前回調査(平成21年)より「薬物乱用事件」で6.9ポイント高く、「高齢者に対する犯罪」で6.0ポイント高くなっている。

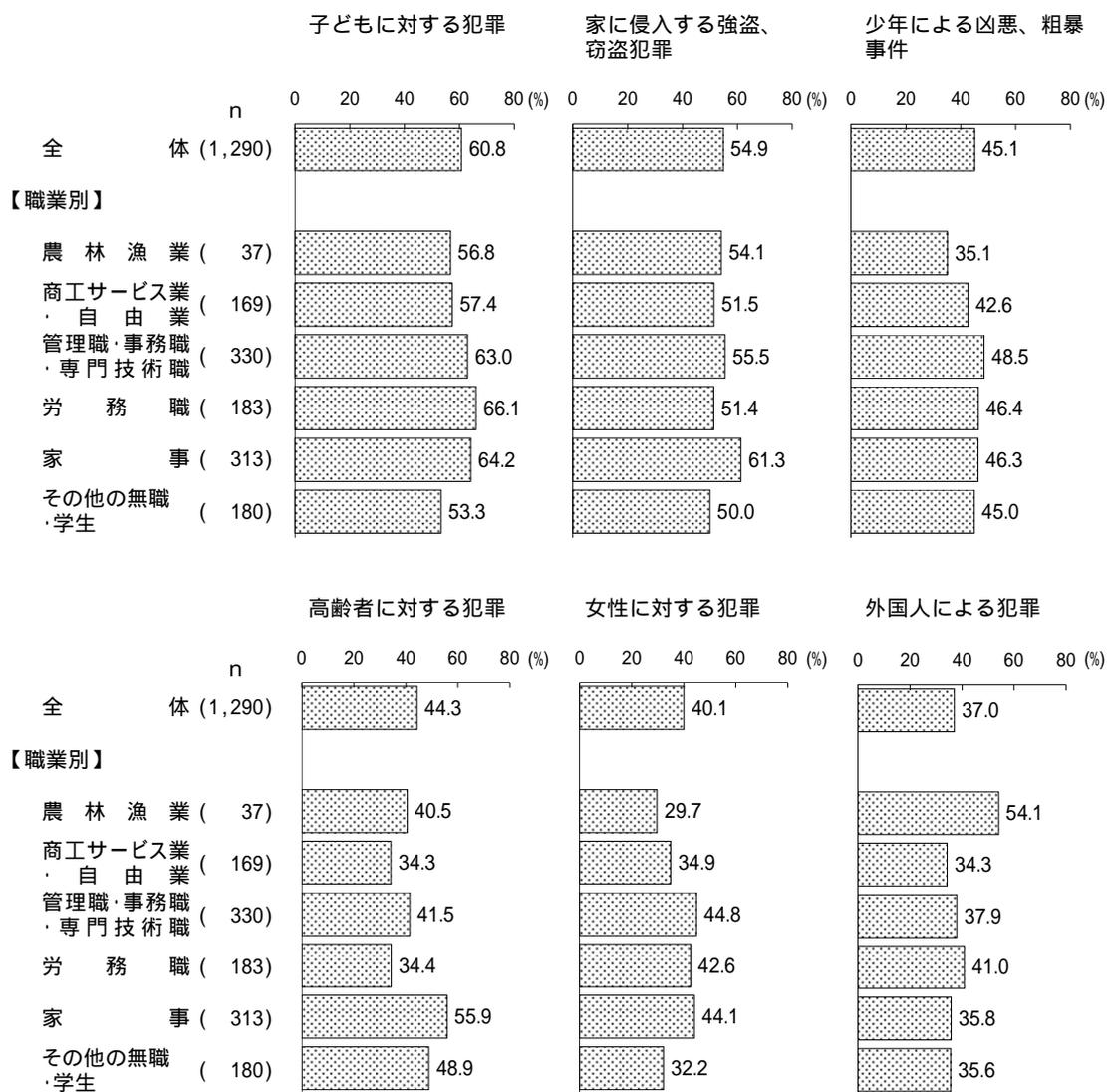
[性別・性/年齢別]
 (上位6項目)



性別で見ると、「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」では 女性（60.5%）が 男性（48.5%）より12.0ポイント高く、男女間の差が最も大きくなっている。

性/年齢別で見ると、「子どもに対する犯罪」では 女性30歳代 が81.4%、「少年による凶悪、粗暴事件」では 男性50歳代 が56.9%と最も高くなっている。また、「高齢者に対する犯罪」では男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に 女性70歳以上 が71.3%と最も高く、「女性に対する犯罪」では女性は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、 女性20歳代 が55.7%と最も高くなっている。

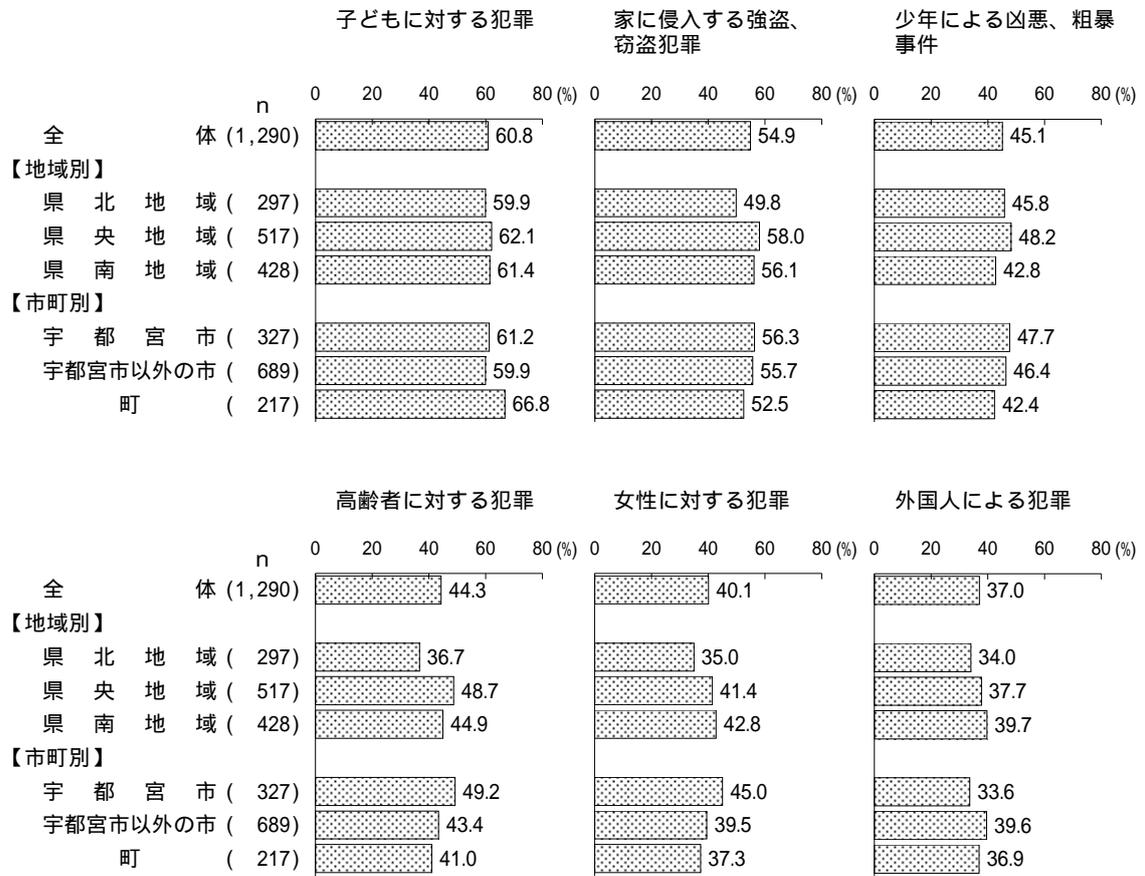
[職業別]
 (上位 6 項目)



職業別でみると、家事 では「家に侵入する強盗、窃盗犯罪」が 61.3%、「高齢者に対する犯罪」が 55.9%と他の職業と比べて最も高くなっている。また、「外国人による犯罪」では 農林漁業 が 54.1%と最も高くなっている。

[地域別・市町別]

(上位 6 項目)



地域別で見ると、「高齢者に対する犯罪」では 県央地域 が 48.7% と高くなっている。

市町別で見ると、「子どもに対する犯罪」では 町 が 66.8% と最も高くなっている。また、宇都宮市 では「高齢者に対する犯罪」が 49.2%、「女性に対する犯罪」が 45.0% と他の市町と比べて最も高くなっている。